

### 【事例3】

実施センター名：福井県赤十字血液センター

実施名称：夏の献血キャンペーン2007  
「ナナ・イロからの贈物」ライブコンサート

実施日時(期間)：平成19年8月26日(日)【12:00・15:00の2回公演】

実施場所：①福井県赤十字血液センター会議室(12:00)  
②ショッピングセンター催事場(あじさいホール)(15:00)

協力団体：福井街角ラジオ

実施目的：複数回献血クラブ会員増加・若年層献血普及

実施内容：①複数回献血クラブ会員限定ミニライブ  
血液センター会議室にてクラブ会員限定(事前募集)50名を迎えてミニライブを実施。  
②クラブ員+一般(200名)  
クラブ会員(事前)募集+一般の方を対象にライブコンサートを開催。(トークで若年層献血推進PR)

実施評価：大型ショッピングセンターの開催で、家族連れなど広い層に対して複数回献血クラブの意義を周知できた。(新聞社取材)クラブ会員へのメリット効果。

実施結果：2回の公演で250名の来場者があり、複数回献血クラブの周知に貢献した。  
また、地元女性音楽デュオ「ナナ・イロ」(24歳)が、分かり易く献血へのアピールしてもらい若年層普及面でも効果があった。

写真：



## 【事例 4】

- 実施センター名 : 石川県赤十字血液センター
- 実施名称 : 中学生を対象とした献血ポスターコンクールの実施
- 実施日時(期間) : 平成 19 年 7 月 1 日(日)～10 月 31 日(水)
- 協力団体 : 石川県
- 実施目的 : 若年層の献血意識を高揚させるための啓発事業を行う。
- 実施内容 : 県内の中学生を対象として募集し、優秀作品について知事表彰を行うとともに、デパート及び献血ルームでこれら優秀作品の展示を行った。  
また、優秀作品を県内全域路線バスの車内広告や公立図書館で配布する啓発しおりに活用する。
- 実施結果 : 県内 24 校から 233 点の応募があり、金賞 1 点、銀賞 3 点、銅賞 6 点、佳作 10 点、入選 20 点を選出した。  
献血ポスターコンクール優秀作品展を開催し、多くの方が来場された。  
12/12 ～ 12/18 香林坊大和 8 階  
12/19 ～ 1/9 献血ルームラブロ  
また、平成 20 年度「愛の血液助け合い運動」の実施に併せて、県内全域路線バス 400 台を対象に 7/1～8/31 まで金賞作品を活用し、献血の必要性を訴えた。

## 各血液センターで実施した複数回献血者確保対策

(平成19年度)

センター名	対策	内容
北海道	1. ハガキ・電話要請の強化 2. 複数回献血クラブの設置・運営 3. 献血処遇品の変更	1. はがき、電話による献血依頼を強化。 2. 複数回献血クラブの設置・運営 3. 処遇品の変更。
青森	1. メールによる献血要請 2. はがきによる献血依頼	1. 複数回献血協力者に対し、メールにより献血依頼。 2. はがきにより複数回献血協力者へ献血依頼。
岩手	1. メールによる献血要請 2. 封書による献血依頼	1. 複数回献血協力者に対し、メールにより献血依頼。 2. 封書により複数回献血協力者へ献血依頼。
宮城	1. メールによる献血依頼 2. はがきによる献血依頼	1. 複数回献血協力者に対しメールにより献血依頼。 2. はがきにより複数回献血協力者へ献血依頼。
秋田	1. メールによる献血要請 2. はがきによる献血依頼 3. 新規会員の募集 4. 情報誌の発行とリーフレットの配布	1. 複数回献血協力者に対し、メールにより献血依頼。 2. はがきにより複数回献血協力者へ献血依頼。 3. 複数回献血協力者の新規募集活動。 4. 情報誌の発行とリーフレットの配布。
山形	1. メールによる献血要請 2. はがきによる献血依頼	1. 複数回献血協力者に対し、メールにより献血依頼。 2. はがきにより複数回献血協力者へ献血依頼。
福島	1. メールによる献血要請 2. はがきによる献血依頼	1. 複数回献血協力者に対し、メールにより献血依頼。 2. はがきにより複数回献血協力者へ献血依頼。
茨城	1. メールによる献血要請 2. ハガキによる献血依頼	1. 複数回献血協力者に対し、メールにより献血依頼。 2. はがきにより複数回献血協力者へ献血依頼。
栃木	1. メールによる献血要請 2. はがきによる献血依頼	1. 複数回献血協力者に対し、メールにより献血依頼。 2. はがきにより複数回献血協力者へ献血依頼。
群馬	1. メール献血協力要請 2. 健康相談の実施 3. はがきによる献血依頼	1. 複数回献血協力者に対し、メールにより献血依頼。 2. 複数回献血協力者に対し健康相談の実施。 3. はがきにより複数回献血協力者へ献血依頼。
埼玉	1. メールによる献血要請 2. はがきによる献血依頼	1. 複数回献血協力者に対し、メールにより献血依頼。 2. はがきにより複数回献血協力者へ献血依頼。
千葉	1. はがきによる献血依頼	1. はがきにより複数回献血協力者へ献血依頼。
東京	1. Eメールによる献血依頼 2. ハガキによる献血依頼 3. 冬季400mL献血リピーターキャンペーン 4. 献血サポーターキャンペーン	1. 複数回献血協力者に対し、メールにより献血依頼。 2. はがきにより複数回献血協力者へ献血依頼。 3. 献血バスでカードを配布し、次回来場の際に記念品を配布。 4. 400mL献血協力者に再度協力を依頼し、了解いただけた方には、ご自身で葉書に「住所」・「氏名」を記入いただき4ヵ月後に発送を行う。
神奈川	1. はがきによる献血依頼	1. はがきにより複数回献血協力者へ献血依頼。
新潟	1. メールによる献血要請 2. はがきによる献血依頼 3. 献血バス会場献血者の献血ルームへの誘導	1. 複数回献血協力者に対し、メールにより献血依頼。 2. はがきにより複数回献血協力者へ献血依頼。 3. 献血バスでの献血者に対し、次回献血ルームへ来ていただくよう依頼。
富山	1. 複数回献血クラブ員の確保 2. はがきによる献血依頼 3. 献血実施回数の増加	1. 複数回献血協力者に対し、複数回献血クラブへ加入していただくようお願いする。 2. はがきにより複数回献血協力者へ依頼。 3. 年1回献血実施の事業所に対し年2回の実施を依頼。
石川	1. メールによる献血要請	1. 複数回献血協力者に対し、メールにより献血依頼。
山梨	1. メールによる献血要請 2. はがきによる献血依頼	1. 複数回献血協力者に対し、メールにより献血依頼。 2. はがきにより複数回献血協力者へ献血依頼。
長野	1. メールによる献血要請 2. ハガキによる献血依頼 3. ポスターの配布	1. 複数回献血協力者に対し、メールにより献血依頼。 2. はがきにより複数回献血協力者へ献血依頼。 3. 複数回献血協力確保のため、ポスターを配布。
岐阜	1. はがきによる献血依頼	1. はがきにより複数回献血協力者へ献血依頼。
愛知	1. メールによる献血要請 2. はがきによる献血依頼 3. 愛知県とのタイアップによるキャンペーン実施	1. 複数回献血協力者に対し、メールにより献血依頼。 2. 固定施設への献血依頼はがき送付、移動採血会場への献血依頼はがき送付 3. 年間2回400mL献血をお願いするキャンペーン実施

センター名	対策	内容
三重	1. メールクラブ会員の募集 2. 電話で400mL献血の募集 3. メールによる献血依頼	1. 複数回献血クラブ会員の募集を行う。 2. 電話により400mL献血協力をお願いをした。 3. 複数回献血協力者に対し、メールにより献血依頼。
京都	1. 推進用ポスター・リーフレットの作製と配布 2. リーフレット郵送による新規登録者募集 3. 新規登録会キャンペーン月間を設けて新規登録者を募集する 4. 健康相談事業の実施 5. 講演会の実施 6. 情報提供メールの送付 7. 献血依頼メールの送付 8. ワンモア献血キャンペーン	1. 複数回献血協力者確保のためのポスター、リーフレットを作成し、配布した。 2. リーフレットを郵送し、複数回献血クラブの新規登録者確保を行った。 3. 新規登録強化週間の実施 4. 複数回献血協力者を対象に、健康相談を実施。 5. 健康に関する講演会を実施。 6. 複数回献血協力者に対し情報提供メールを発信。 7. 複数回献血協力者に対しメールによる献血依頼。 8. カード配付し、再来を促す。
大阪	1. メールによる献血要請 2. はがきによる献血依頼	1. 複数回献血協力者に対し、メールにより献血依頼。 2. はがきにより複数回献血協力者へ献血依頼。
奈良	1. メールによる献血要請 2. はがきによる献血依頼 3. 実施場所（企業・団体）の年間回数の増加	1. 複数回献血協力者に対し、メールにより献血依頼。 2. はがきにより複数回献血協力者へ献血依頼。 3. 企業・団体に対し年間協力回数の増加依頼。
和歌山	1. メールによる献血要請の推進 2. はがきによる献血依頼	1. 複数回献血協力者に対し、メールにより献血依頼。 2. はがきにより複数回献血協力者へ献血依頼。
鳥取	1. メール、はがきによる献血要請・イベント案内 2. 街頭献血におけるはがき依頼	1. 複数回献血協力者に対し、メール、はがきにより献血依頼及びイベント案内。 2. はがきにより複数回献血協力者へ献血依頼。
島根	1. メールによる献血依頼 2. はがきによる献血依頼	1. 複数回献血協力者に対し、メールにより献血依頼。 2. はがきにより複数回献血協力者へ献血依頼。
広島	1. メールによる献血要請 2. はがきによる献血要請	1. 複数回献血協力者に対し、メールにより献血依頼。 2. はがきにより複数回献血協力者へ献血依頼。
山口	1. メールによる献血依頼 2. 県職員献血協力者登録者名簿、市・町職員献血協力者名簿の活用 3. はがきによる献血依頼	1. 複数回献血協力者に対し、メールにより献血依頼。 2. 献血協力者名簿を作成し、血液不足時の活用をした 3. はがきにより複数回献血協力者に対し、献血依頼。
徳島	1. 推進用チラシの作成と配布 2. 未加入献血者へのDMの発送	1. 献血者全員にチラシ配布し、複数回献血クラブへの登録をお願いした。 2. 複数回献血クラブ未加入者へ、ダイレクトメールにより登録をお願いした。
香川	1. メールによる献血要請 2. はがきによる献血依頼	1. 複数回献血協力者に対し、メールにより献血依頼。 2. はがきにより複数回献血協力者へ献血依頼。
愛媛	1. メールによる献血要請 2. はがきによる献血依頼 3. 固定施設における成分献血者へ複数回献血クラブへの登録の推進	1. 複数回献血協力者に対し、メールにより献血依頼。 2. はがきにより複数回献血協力者へ献血依頼。 3. 固定施設の成分献血協力者に対し、複数回献血クラブへの登録をお願いした。
高知	1. メールによる献血要請 2. はがきによる献血依頼	1. 献血者全員にチラシ配布し、複数回献血クラブへの登録をお願いした。 2. 複数回献血クラブ未加入者へ、ダイレクトメールにより登録をお願いした。
福岡	1. メールによる献血要請 2. はがきによる献血依頼 3. 講演会の開催	1. 複数回献血クラブへの登録をお願いした。 2. 複数回献血クラブ未加入者へ、ダイレクトメールにより登録をお願いした。 3. 講演会を開催し、複数回献血協力をお願いを行った。
長崎	1. メールとはがきによる献血依頼 2. はがきによる献血依頼	1. 複数回献血協力者に対し、メールにより献血依頼。 2. はがきにより複数回献血協力者へ献血依頼。
熊本	1. メールによる献血要請 2. はがきによる献血依頼 3. 複数回献血キャンペーンの実施	1. 複数回献血協力者に対し、メールにより献血依頼。 2. はがきにより複数回献血協力者へ献血依頼。 3. 複数回献血協力確保のためノキャンペーンノ実施。
大分	1. メールによる献血要請 2. はがきによる献血要請	1. 複数回献血協力者に対し、メールにより献血依頼。 2. はがきにより複数回献血協力者へ献血依頼。
鹿児島	1. メールによる献血要請 2. はがきによる献血要請	1. 複数回献血協力者に対し、メールにより献血依頼。 2. はがきにより複数回献血協力者へ献血依頼。

## 複数回献血者確保対策の事例

### 【事例 1】

実施センター名：東京都赤十字血液センター

実施名称：献血サポートキャンペーン

実施日時（期間）：募集期間 7月～11月 協力期間 11月～3月

実施場所：都内献血ルーム

実施目的：冬場の全血献血（400mL）者確保

実施内容：7月～11月までの400mL献血協力者に4ヵ月後に再度協力を依頼し、了解いただけた方には、ご自身で葉書に「住所」・「氏名」を記入いただき4ヵ月後に発送を行う。  
葉書を持って協力いただいた方には記念品のお渡しする。

実施評価：通常の依頼であると応諾率が約10%であるが、ご自身で書いた葉書が郵送されることにより、応諾率が約3倍に増える。  
これにより、冬場の献血者確保の有効な手段と考える。

実施結果：募集人数 30,135名 来場者数 9,875名 応諾率 32.8%  
都内23区の献血ルームの応諾率 31.3%  
都下の献血ルームの応諾率 37.5%

## 各血液センターが実施したその他献血者確保対策

(平成19年度)

センター名	対策	内容
北海道	1. 大学での献血実施時の献血者数増加	1. 体育会系グループ(部活動)の献血団体登録(献血サポーター)と血液不足時に応じた献血要請の実施。
青森	1. 電話による献血依頼 2. 400mL献血キャンペーンの実施 3. ポイント制の導入	1. 電話による依頼を行った。 2. 県内の事業所で実施した。 3. ポイント制を導入した。
岩手	1. はがきによる献血依頼	1. はがきによる献血依頼を行った。
宮城	1. 各市町村が設定する献血日(会場)を見直しいただき、実績が低い場所の実施を止め、より献血者の多い会場へ配車していただくよう勧奨し、効率の良い採血が得られるようお願いする。 2. 近距離市町村を宿泊・移動で実施する等、移動時間の短縮化を図り受付時間を有効なものにする。	1. 平成18年度では、献血バス1台につき平均1.58箇所移動だったものが、平成19年度には1.60箇所とわずかではあるが、向上した。 2. 40回の宿泊献血を実施。その結果、ナイター献血(受付17:00まで)、翌日の早朝献血(受付9:00開始)を展開できた。
福島	1. 成分献血登録者募集用DMの作成配布 2. 定期的成分献血者確保対策(ポイントキャンペーン適用)	1. 成分献血登録者に対し、ダイレクトメールを送付し献血の依頼を行った。 2. ポイントキャンペーンを実施し、定期的な成分献血を依頼した。
栃木	1. 次回の予約推進(固定施設) 2. 午前中及び平日の献血者確保ポイントキャンペーン(適用等)	1. 固定施設での献血協力者に対し、次回の献血予約をお願いした。 2. ポイントキャンペーンを実施し、午前中及び平日の献血者確保を図った。
群馬	1. 次回予約献血の推進 2. 需給の情報を把握し電話による献血依頼	1. 献血協力者に対し、次回の献血協力の予約をお願いした。 2. 電話による献血依頼を行った。
埼玉	1. 次回の予約推進(特に平日) 2. 電話による献血依頼(水曜と木曜の予約率の向上) 3. メールによる緊急依頼	1. 献血協力者に対し、次回の献血協力の予約をお願いした。 2. 水曜日と木曜日の献血依頼を行った。 3. メールにより緊急の献血依頼をおこなった。
東京	1. 都内献血ルームポイントキャンペーン! 2. ほっとキャンペーン	1. 2. 再来促進のため、ポイントキャンペーン、ほっとキャンペーンを実施し、対象者には、特別な記念品を贈呈。
新潟	1. 企業献血の推進 2. 「献血協力カード」の配布	1. 新潟県経営者協会加入企業にアンケートを実施し、新規企業を開拓した。 2. 血液不足時に協力団体に配布し、献血協力を得た。
福井	1. 母体中心：推進キャンペーン 2. 次回PC予約推進 3. 成分献血ポイント制	1. 平日の安定確保のために、キャンペーンを実施した。 2. 献血協力者に対し、次回の献血予約をお願いした。 3. ポイント制を導入し、血小板成分献血の安定確保に貢献できた。
山梨	1. 高校献血の全校実施 2. 短大・大学献血の実施 3. セミナー開催	1. 県内全校の献血実施 2. 県内全短大・大学の献血実施 3. 県内の高校生・短大・大学生対象の研修会を実施
長野	1. 献血ルーム10周年キャンペーン	1. 10周年にあわせてキャンペーンの実施
岐阜	1. 職専免 2. 電話による依頼 3. はがきによる依頼	1. 岐阜県庁薬務水道課より事前に文書にて職専免での協力許可を得、採血日前日の午前中に、該当の施設に血液センターより血小板献血を血液型別、希望人数を伝え、翌日希望時間に車での送迎を行う。 2. 電話による献血依頼を行った。 3. はがきによる献血依頼を行った。

センター名	対策	内容
愛知	1. 固定施設献血者確保におけるポイント制度見直し	1. 平日成分予約者のポイントアップ及び全血献血者へのポイント制導入。
三重	1. 次回の予約依頼 2. 電話による依頼 3. 成分献血登録者の確保	1. 固定施設における献血者に対し、次回献血の予約をお願いする。 2. 電話による献血依頼を行った。 3. 成分献血登録へのお願いをした。
滋賀	1. 電話及びハガキ等による献血依頼 2. 定期及び緊急時の協力団体の拡大 3. 次回の予約推進 4. 新聞折り込みチラシ	1. 電話、はがきによる献血依頼を行った。 2. 近隣事業所に対し、定期、緊急時の献血協力を依頼。 3. ライオンズクラブの協力により、献血者に対し、次回の献血協力を依頼。 4. 新聞の折込により献血のお願い、普及啓発を行った。
京都	1. 期間限定のはがきによる献血依頼 2. 「2回目のおくりもの献血」カード配布 3. 「月火水にお願いキャンペーン」 4. はがきによる400mL献血依頼実施	1. はがきによる献血依頼を行った。 2. 献血初回者に2回目の献血を依頼するカードを配付 3. 血小板献血推進キャンペーンを実施。 4. 献血ルームの献血者対象に、はがきによる400mL献血の依頼を行った。
大阪	1. ハガキ、封書及びEメールで依頼 2. 受付、採血、休憩中に血小板可能者に推進する。 3. 400mL献血増強キャンペーン	1. はがき、封書、メールによる献血依頼を行った。 2. 献血者に、成分献血のお願いを行った。 3. 記念品を通常のものから変更し、400mL献血者の増加を図った。
兵庫	1. 献血ルームにおけるサービスの充実	1. ネイルケア、ハンドマッサージ、スポーツマッサージ、イベント、バレンタインデー献血、すっきり献血キャンペーン、夏季、秋季、冬季キャンペーンを実施した。
奈良	1. 予約制の推進 2. 電話、はがきによる献血依頼 3. メール会員による献血依頼	1. 予約制の推進を図った。 2. 電話、はがきによる献血依頼を行った。 3. メールによる献血依頼を行った。
和歌山	1. 成分献血協力団体拡大 2. 電話による献血依頼 3. 再来献血推進	1. 県庁、自衛隊、海上保安庁等の公共団体の他にJA和歌山損保ジャパン、愛和会、酒販組合、マルハン等の協力団体に依頼し協力を得た。 2. はがき送付者に対し、協力要請の電話依頼を行った。 3. ダイレクトメールを送付し、成分献血の協力依頼を実施した。
鳥取	1. 電話による献血依頼 2. 午前中の献血者確保	1. 電話による献血依頼を行った。 2. 献血ルームのサービスを充実させた。
島根	1. 血小板成分献血者確保 2. 電話 はがきによる献血依頼	1. メールによる血小板成分献血依頼を行った。 2. はがきによる血小板成分献血依頼を行った。
山口	1. 電話による献血依頼 2. 献血協力団体に定期的に依頼 3. キャンペーンの実施	1. 血液不足時に電話要請を行った。 2. 献血協力団体に対して、定期的に献血協力の依頼を行った。 3. 血小板確保対策として、ハロウィンキャンペーン、Red X'mas2007キャンペーン、ゆく年・くる年Thanksキャンペーン、バレンタイン献血キャンペーン2008、ひな祭り献血2008
徳島	1. 市町村巡回地の献血者へのDM依頼	1. 移動献血車で巡回する市町村の献血者に対し、ダイレクトメールにより献血の依頼を行った。
香川	1. 平日の献血者確保 2. 次回の予約推進 3. 電話による献血依頼	1. 平日の献血ルームでのイベント強化。 2. プロバスケット(Bjリーグ) 試合において、献血ルームのPRイベントを実施。 3. 電話で献血依頼を行った。

センター名	対策	内容
福岡	1. ルーム店頭での献血呼びかけ 2. 次回献血の予約	1. ルーム店頭での献血呼びかけ。 2. 献血者に次回の献血予約をお願いした。
佐賀	1. 市町成分献血の日 2. 新聞・チラシ折込	1. 「成分献血の日」を設け、送迎により献血依頼。 2. 新聞、折込により献血のお願いと普及啓発を行った。
長崎	1. 「1,000人献血」キャンペーン 2. ライオンズクラブ主催献血	1. 1000人献血キャンペーンを行った。 2. ライオンズクラブに献血をお願いし、主催による献血を実施していただいた。
大分	1. 電話、ハガキによる献血依頼 2. 成分献血記念プラスワンキャンペーン 3. 新規成分献血キャンペーン	1. 電話、はがきによる献血の依頼を行った。 2. 午前中の血小板成分献血者確保のためのイベント実施。 3. 新規成分献血者確保のキャンペーンを実施した。
鹿児島	1. 400m L献血推進用資材の作成 2. 学内献血の強化 3. 献血団体育成講習会の実施 4. ハガキによる献血依頼	1. 400m L献血推進用の資材を作成し、400m L献血協力のPRを行った。 2. 学校献血を強化し、若年層の確保を図った。 3. 献血団体に対し、講習会を実施した。 4. はがきによる献血依頼を行った。
沖縄	1. 「初詣献血」の実施 2. 献血担当者との連携強化	1. 年始に初詣献血を実施した。 2. 献血団体等の担当者との連携強化を図った。

## その他献血者確保対策の事例

### 【事例1】

実施センター名：新潟県赤十字血液センター

実施名称：献血への協力に関する企業アンケート実施状況

実施日時(期間)：平成19年9月18日(月)～10月5日(金)

実施場所：社団法人新潟県経営者協会加入企業308社

実施目的：献血者確保の中心的役割を担っている企業献血のより一層の推進を図るため新潟県と連名でアンケート調査を実施

実施内容：社団法人新潟県経営者協会加入企業308社に対し、献血協力に関するアンケート調査を実施(結果は別添参照)

実施評価：県と連名によるアンケート結果を踏まえ、企業訪問を実施した。そのため、企業側の反応も良く、多くの新規企業を開拓することができた。

実施結果：①アンケート結果を踏まえ、10月下旬以降企業訪問を実施

19年度に献血バスを配車した企業	4社
20年度に献血バスを配車予定の企業	11社
(上記4社を含む)	
19年度に献血ルーム等で協力いただいた企業	7社
20年度に献血ルーム等で協力予定の企業	13社
20年度に実施回数を増加予定の企業	2社

②献血普及啓発資料の送付  
アンケートで献血への協力が可能と回答した企業(114社)に普及啓発資材を送付した。

アンケート結果：1. 献血への協力状況

協力している	89社(56%)	過去に協力あり	34社(21%)
協力したことがない	35社(22%)	不明	2社(1%)

2. 今後の献血への協力意向

現在協力している企業	今後も協力可能	83社
	実施回数増可能	6社
現在協力していない企業	協力可能	11社
	協力困難	10社

3. 今後の協力可能な内容(現在協力していない企業)

献血バスの受入	15社
近隣にバスが来たときの協力	34社
社員への普及啓発	47社
血液不足時の協力	7社
献血ルームでの協力	10社
その他の協力	1社

## 【事例 2】

実施センター名 : 新潟県赤十字血液センター

実施名称 : 献血協力カードの配布

実施日時(期間) : 平成 19 年 12 月～平成 20 年 3 月

協力団体 : 新潟県生命保険協会加盟会社、新潟県献血推進協議会加盟の協力団体  
県内のライオンズクラブ

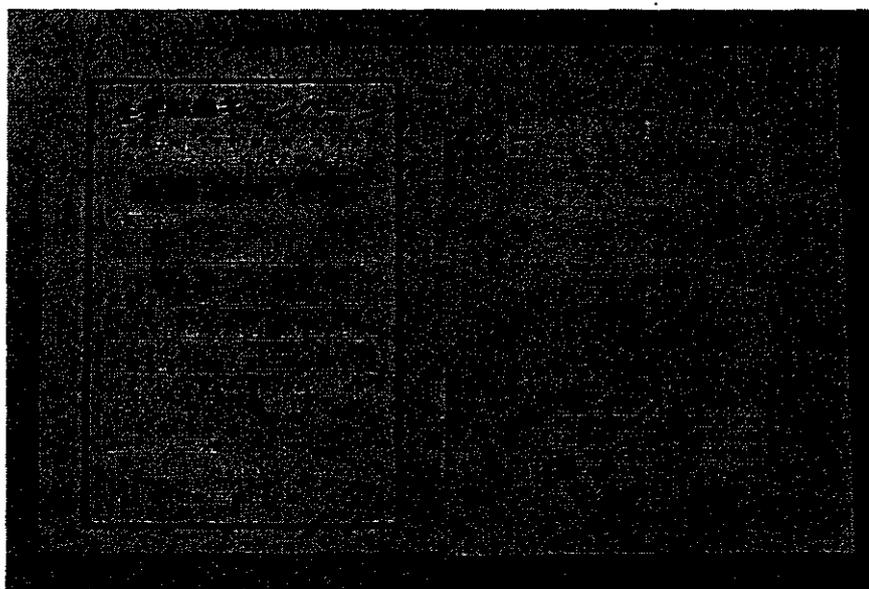
実施目的 : 例年、献血者が減少する冬季(12月～3月)の献血者確保のため、協力団体に「献血協力カード」を配布し、協力要請を行った。

実施内容 : 新潟県生命保険協会加盟会社 20 社、県内のライオンズクラブ  
80 団体、新潟県献血推進協議会加盟の協力団体及び一般事業所約 30  
団体、合計 約 130 社に対し「献血協力カード」を配布し、協力要請  
を行った。

実施評価 : 「献血協力カード」の協力団体への配布は、冬季における献血者確保  
に効果があったと考える。また、協力者の回収カードを集計し、協  
力団体に結果報告をすることができた。

実施結果 : カード配布枚数 約 7,000 枚 協力者数 370 人(応諾率 5.3%)

写真 :



### 【事例 3】

実施センター名：岐阜県赤十字血液センター

実施名称：県職員の職専免による血液の確保

実施日時(期間)：平成19年4月～平成20年3月

実施場所：岐阜県赤十字血液センター

協力団体：岐阜県庁及び出先機関

実施目的：血小板献血の確保

実施内容：岐阜県庁薬務水道課より事前に文書にて職専免での協力許可を得、採血日前日の午前中に、該当の施設に血液センターより血小板献血を血液型別、希望人数を伝え、翌日希望時間に車での送迎を行う。

実施評価：迅速に献血者を確保していただき、血小板の型別不足分を補うことができた。

実施結果：年間15回依頼(内全血依頼1回)をし、83名の協力を得た。